

St. Luke's International University Repository

児童期における死の概念の発達:Developmental study on the concept of death in childhood.

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 常葉, 恵子, 伊東, 和子, 岡田, 洋子, 岡堂, 哲雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/117

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



児童期における死の概念の発達

—Developmental study on the concept of death in childhood—

常葉 恵子
岡田 洋子

伊東 和子
岡堂 哲雄

1. 問題の所在

児童期における死の概念の発達に関する研究には、アンナフロイトらの精神分析学者による研究と、ゲゼルなどの発達心理学者による研究がある。小嶋謙四郎¹⁾によれば、ゲゼルは、3歳児は、死についてほとんどあるいはまったくわかっていない。4歳児は、死についてごく簡単な考えをもっているが、死をほとんど言葉の上だけで知っているにすぎない。5歳児は、初めて生きているものと死せるものとの区別が出来るようになるが、なおこの知覚は漠然としたものであり、自分自身や年上の人が死ぬかもしれないということは考えない。6歳児は、生と死について新しい意識をもちはじめ、死を拒む気持ちが強まり、知的にも情緒的にも死の実体を知ることができるようになる。7歳児では、死の概念は個人的なものとなり、自分もいつかは死ぬのではないかと考えはじめる。8歳児は、死後にどんなことがおこるかという興味に移り、すべての人間が死ななければならないという理解ができる。10歳児になると、ようやく成人の死生観に近づく。と述べている。しかし、これら研究者の間でもかなりの距離があり、まだ一致した見解には致っていないようだ。

山梨大学心理学研究会が行なった、子どものものの考え方²⁾に関する報告によれば、子どもは、生物学的な意味でものに生命を認めているのではなく、むしろ(生きるということ)を漠然と(現実的であるということ)、ないし(存在するということ)と同じような意味に理解しているようだ、と指適している。死の概念についても同様で、子供が「汽車は生きているけれど、脱線した汽車は死んでいるよ」とか、ろうそくが消えるのを見て「ろうそくが死んだから、火が消えたんだ」とか言うが、これも「死」を「活動しなくなった状態」をさして言っているにすぎない、と述べている。

「死と出会うとき」³⁾に述べられている「死にゆく子供の心」によれば、子供はいったいどのくらい死を理解する能力があるのか、ということで、次のように述べている。就学にまだ間のある年齢の子供は、あらゆる関係というものは、いつだってまたもとどおりにな

るのだ、と思い込んでいる。(可逆性)花や草はしおれて枯れてしまうけれど、次の年にはまた青々とのびてくる。死んだネズミを見たとしても、そっくりな別のネズミがそこらを走り回るのを目にする。死というのは、こういうこととは違ふ、ということを就学前の子供に、何とか教え込もうとしたところでわからない。彼らの世界では、人々はいつでももどってくるに決まっているものである。就学前の子供は、死というのはすべて、しばしの別れと大差ないものくらいに思っているようだ。小学校低学年では、子供は死というものを、何か体をもったものとして思い描いている。死の天使・怪物・火星人・お化けといった類。彼らの想像力で描かれた死は、人間のような形をしていて、暗闇で待ち伏せしているものすごい動物なのである。子供がこんな具合にして死を擬人化するようになる時期、相変わらず死というものを、しばらく別れているくらいに思っていることもあるし、ぼつぼつ死は永久の別れなのだということに気付く場合もある。顔なじみの犬が死に、新しい子犬を買ったなどということから、死は永遠の別れだということが、はっきりのみこめてくる。以上のように述べている。

「死ぬ瞬間」⁴⁾でキューブラー・ロスは、幼いものは死について大人とは異なった観念をもっていると、次のように述べている。3歳までの幼児は、別れるということにしか感心がそそがれず、身体を破壊するものについての恐怖をもち、死は永久的なものではない。5歳以後の幼児は、死はしばしば擬人化されて、人々をさらっていってしまうお化け姿をとる。9歳から10歳の学童になると、ようやく現実的な観念が芽生え、死は永久的な生物学的プロセスと思われる。思春期の子供は大人とあまり変わらない、と。

日本の予後不良児医療の現状をみると、宮崎澄雄氏らが、患児は死を意識するかということで、小児がん遺族のアンケート調査⁵⁾を行なっている。それによれば、患児が果して死を意識していたかどうか、ということに答えるのは両親にとってもかなり困難であり、客観性の欠如を認めた上で、調査結果を発表している。

それによると3歳以下でも意識していたと答えたのが19%, 4歳以上になると50%を越えている。また江口光興氏らが行った, 小児悪性腫瘍の心理的問題⁹⁾によると, 患児に病名を告げるべきか否かは, よく問題になることであるが, 主治医は積極的に病名を告げた例はなく, また両親も患児に病名を話してもらいたくない, といっている。しかしながら, 死をある程度理解できるようになる6歳以上の患児についてみると, 患児自身が, 何らかの意味で予後不良の病気であることを気付いていた, と観察する主治医が約半数おり, 両親の側からみると, この割合は増加する。10歳以上についてみれば, さらに多数の患者が, 自分の病気が悪性腫瘍または予後不良の病気であることを知るようになる。知り得た経路は, ①同じ検査・治療をしていた児が, 悪性腫瘍であることより推察, ②親と医師の話を持ち聞きして, ③本を読んで, ④周囲の雰囲気より感じどり, ⑤新聞に自分のことに関する記事がでているのを読んで, 等があげられる。小児は大人に比べて, 自分の病気に対して質問してくることは少ない。しかし関心がないわけではなく, 抑圧されて質問しないのではないかと言われている。質問してこないから患児は, 悪性腫瘍に気づいていないとするのは早計である。約半数の患児が, 自分の病気に気づいていることを考えると, ただ「知らせない」だけでは, 患者の精神的苦痛を取り去ることはできない。個々のケースにおいても知らせない, あるいは知らせる, いずれが正しいかは不明である。しかし知ってしまったケースについては, 何らかの方策を立てる必要がある, と指摘している。

以上の文献研究に加えて, 臨床経験をもとにして, わが国の現代社会において, 子供が各発達段階で死をどのように見ているか(すなわち, 死の概念の発達の变化), を明かにするために, 本研究を企てた。

2. 対象と方法

本研究の対象者数は, 表1に示したとおりで, 4歳から12歳(小学校6年生)までの子供で総数は, 810名である。

調査方法は, 4歳~6歳までの園児には質問紙をもとにして面接法を用い, 小学校の児童には質問紙調査票に記入を求めた。調査は, 札幌と佐賀の両地方では, 昭和52年8月に, 東京では同年11月に実施した。

3. 質問紙作成の経過

本調査に用いた調査用紙は, 末尾に貼付したとおりであるが, 各調査項目の選定の経過をつぎに述べよう。

質問項目の選定の作成は, 子供の思考の「わくぐみ」はどうつくられるか, という点からとり組んだ。山梨

表—1 年令別, 被調査者数

地 域		札 幌		東 京		九 州		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	
園 児	4 歳	10	3	8	9	3	5	38
	5 歳	6	12	9	11	11	3	52
	6 歳	4	9	7	7	4	7	38
小 学 生	1 年生	23	20	19	17	18	18	115
	2 年生	19	21	22	23	17	16	118
	3 年生	18	19	15	16	22	20	110
	4 年生	23	20	15	13	21	18	110
	5 年生	20	16	22	19	16	16	109
	6 年生	20	18	21	22	19	20	120
合 計		143	138	138	137	131	123	810

大学心理学研究会が行なった, 子どものアニミズム的思考における, 生命概念の発達の調査報告²⁾を参考にし1~6の質問を設定した。

アニミズムとは, 子供の因果的思考の中で, もっとも多くみられるものである。あらゆるものが, 生命・意識・意図・感情などをもっているという前提に立って, ものごとを説明する。しかし, アニミズムといっても, きわめて原始的なものから, 高次のものに至るまで, いくつかの段階がある。一番低い段階の子供は, 「机も椅子も生きているよ。だって役に立つもの」といった具合に, どんなものにも生命を認めてしまう。次の段階になると, 動くものだけが生きていると考え, 「雲も鳥も電車も自転車も生きているけれど, 机や山や木や貝は動かないから生きていない」と主張する。これがさらに, 自分の力で動くものだけが生きているというふうにかわり, 「太陽や風や時計や飛行機は生きている」と言う。そして最後に, 生きているものは, 動植物だけだという考えにかわっていく。

さらに, 具体的に「死」をどのようにとらえているか知るため, 7~11の質問を設定した。質問項目作成にあたっては, 「死の意味するもの」⁷⁾における, 死に関する子供の見方と, 児童心理学⁸⁾の各学年における世界観(死と神・時間と空間)を中心に参考とした。

質問7は, 生や死を言葉上理解しているのか, 実際に自分のこととしてとらえているのかを, 過去・現在・未来という時間概念と, 他人のこととしてではなく, 自分や自分の身内にも起こり得ることとして, とらえているかを知るために作成した。

ゲゼルは, 5歳児の時間の概念は, 主として現在に限られる, と述べている。彼には, 自分が存在していなかったこと, 消滅してしまうこと, は考えられない。

彼にとって時間は、主として彼自身の時間である。6歳児になると、彼は母親が死ぬのではないかと心配する。彼は彼をじかに取り巻く人達、あるいは、血縁の人達に起こるかもしれない死を意識しはじめる。そして、現在にだけ生きるのではない、彼は過去の時間を再びとらえようとする。そして自分の、また母親の赤ん坊であった頃の話をも、非常に興味をもって聞く。彼は重要な祭日や、家族の誕生日などによって、未来を思うようになる、とのべている。

質問8は、死をまったく否定し、死は出発であり、睡眠である、と考えているのか、または、肉体の死の事実を認知しても、それと生を識別することができず、ないしは一次的なものと考えているのか、を知る目的で作成した。「死の意味するもの」⁷⁾の死に関する子供の見方でナギーは、「子供にとって死とは何であろうか」この質問に対して、次のような発達段階に大別することができるのと述べている。

(1)5歳以下の子供は、通常死をとり返し難いものだと受けとめておらず、死の中に生命をみる。

(2)5歳から9歳の子どもは、死を擬人化することが多く、死を偶然の事件と考える。

(3)9歳以上の子供は、死をある法則によって生起するプロセスである、と考えるようになること。

(1)のこの最初の段階では、子供は死がどのようなものであるか、わかっていない。決定的な死は存在しない。子供は命や意識が死者にもあるものと考え。たとえば、4歳8カ月の子は「死人は棺にはいっているから動けないんだよ」「もし棺の中にはいっていないければ、動けるかな」「食べたり飲んだりできるよ」この場合、不動性の原因が外的状況にあるとみなしている。死人は、棺が動くことを妨げているために、動かないのである。死人はそれでもまだ食物をとることができる。5歳児は「死人はだんだん年をとってネ、100歳になると木片みたいになるの」「私のお姉ちゃんはネ、今5歳だと思うよ。お姉ちゃんが生まれた時は、まだ私は生まれてなかったの。今頃きっと大きくなっているよ」

「お姉ちゃんは、今何をしていますか」「横になって休んでいるの。いつも棺の中に横たわっているの」といった具合である。以上のことがらを参考にし質問8を作成した。

質問10は、子供の多くが擬人化する項目を、「死の意味するもの」⁷⁾さらに、「死と出合うとき」³⁾、「死ぬ瞬間」¹⁴⁾などからとりあげ、また擬人化の対象を、従来のイメージだけではなく、明るいイメージのものとして「おひめさま」テレビなどの影響を考え「かいじゅう」を

加え、実際に擬人化の傾向をみるために作成した。

(2)の段階の概念は、5歳から9歳までの子供に特徴的であり、死の擬人化は、二つの仕方では生ずるとナギーは次のように述べている。すなわち死は、離別した人と考えられるか、さもなければ死は死者と同一視される。子供は、死というものを何か体をもったものとして思い描いている。死の天使・怪物・火星・共産主義者・お化けとかいった類である。死は存在するが、子供はまだ死を自分とは遠いところにあるもの、と考えている。これらのことを参考にし質問10を作成した。

子供がこんな具合にして、死を擬人化するようになる時期、あいかわらず死というものを、しばらく別れているくらいに思っていることもあるし、ぼつぼつ本当のことを、つまり死は永久の別れなのだということに、気がつく場合もある。

質問9・10は、死はわれわれ全てに起こる一つの過程であり、肉体的生命の崩壊という形で知覚しているかどうか、をみるために作成した。ナギーは、9歳以上になると、死が肉体的生命の停止である、という認識をもつようになる、とのべている。たとえば10歳児は「それは肉体の消滅のことです。死んでしまうと、私達の肉体は生き返えることはありません。死は花が枯れるのに似ています」9歳4カ月児は「死は人生の結末です。死は運命です。ぼくたちはこの世での生活を終えるのです。死はこの世での人生の結末です」というふうに。

この頃までに、子供は死は不可避なものであることを識別する。この段階になると、死の概念作用がいつそう現実主義的なものになるだけでなく、子供の一般的世界観も、この方向にかわってくる。子供の死についての概念作用は、大部分彼の一般的世界像を反映するものである。以上のことを参考に、死の現実的認識、さらに死の不可逆性を知るために、この質問を作成した。

質問11は、死亡者のおおくが、病院で亡くなるという現在、子供達が、実際の死にどれだけ接したことがあるか、またその経験が、死の概念発達の過程で特徴的な影響を及ぼしているか、をみる目的で設けた。

4. 調査結果

調査データは、年令別、性別、地域別に、各項目ごとに集計し、さらに年令による変化を回帰曲線を求めることで検討することにした。

調査結果については、児童期のアニミズムと死の概

念の発達に分けてすすめる。

1) アニミズムについて

まず依田・藤原が行なったアニミズム調査結果⁹⁾と、今回私達が行なったアンケート調査との比較を行なった。

第一群の静止しているもの（机・人形）に対するアニミズムは、同氏らの調査結果によれば、幼稚園児では、30%前後のものがこれらに対して生きていると答えているが、小学校になると、その答えは非常に少なくなっている。静止しているものに対するアニミズムは、きわめて弱く、またその崩壊もはやい、と述べている。我々の調査では別表1「机は生きていますか」という問いに、札幌では、幼稚園の4才児が男女とも30%~40%生きていると答えている。その後減少傾向にあるが、4年生の女子・5年生の男子で20%生きていると答え、6年生になると男子で20%・女子では39%生きていると答え、逆に増加傾向が見られる。東京では、保育園の4才児が、男女とも33%~56%生きていると答えている。以後減少著明であるが、6年生になると、女子のみが急に50%生きていると答えていることは、注目すべきことである。佐賀では、幼稚園児で生きていると答えたものは少なく、小学2年生になり、男子が29%~35%・女子で56%~63%生きていると答えるようになる。その後徐々に減少し、6年生では男子32%・女子25%が生きていると答えている。

このことから、机に関しては、幼稚園においてすでに低率傾向であり逆に、同氏らの調査では、小学校になるとその答は非常に少なくなると述べているが、我々の調査では、名地域とも小学校高学年で再び上昇がみられる。

「人形は生きていますか」という問いに、生きていると答えたものは、札幌で、幼稚園の4才児が男女とも30%~33%あり、以後減少傾向にあるが、6年生男子で30%・女子で33%である。東京では、幼稚園4才児男女と、5才児男子が、22%~38%で、以後減少しているが、6年生女子になると60%と急に昇している。佐賀では、幼稚園児でも生きていると答えたものは、全般的に少なく、小学校2年生の男女で35%~50%である。その他は人形に対するアニミズムは少ない。しかし、6年生になっても21%~35%みられる。

このことから、幼稚園児のときからすでに低率にある。反対に同氏らは、小学校になるとその答えは非常に少なくなる、と述べているが、我々の調査結果では、人形に関しても机と同じ傾向で、小学校高学年で再び高い上昇がみられる。

第二群の動く機械（飛行機・ラジオ）に対するアニミズムは、幼児ではきわめて強いが、年齢が進むにつれて、かなりすみやかにアニミズムが崩壊する、と同氏は述べている。我々の調査では「飛行機は生きていますか」という問いに、札幌では、4才児男女とも60%~70%生きていると答え、その後減少している。東京では、4才児・5才児男女が45%~70%生きていると答え、その後減少しているが、6年生女子は、第一群と同様に、36%~41%という高率で生きていると答えている。佐賀では、幼稚園児と小学校2年生に高率にみられ、35%~56%生きていると答えている。その他の年代は低率である。

ラジオに関して、札幌では、年齢の特徴は少なく、アニミズムは全般に低率である。東京も同様である。佐賀は、全般的に低率であるが、飛行機同様2年生男女において、44%~50%が生きていると答えている。

このことから、園児のアニミズムはきわめて強くはなく、同氏らが述べているような、年齢とともにすみやかにアニミズムが崩壊する、といった現象もみられない。

第三群には、燃えている火・山・川・海が含まれる（地象に対するアニミズム）。今回は、これらと比較する項目を設けなかった。

第四群のような天気気象（かみなり）に対するアニミズムは、同氏らの調査によれば、幼児は他のいずれのグループ事象よりも強く、しかも年齢が進んでも、アニミズムは崩壊しきくい、と述べている。我々の調査で「かみなりは生きていますか」という問いに、札幌では、4才から小学校3年生までの過半数が、生きていると答えている。その後減少傾向にあるが、5年生女子で60%、6年生男女で35%~38%生きていると答えている。東京では、4才児の55%が生きていると答え、その後減少しているが、6年生女子になると、80%と急上昇している。佐賀では、3年生男女の20%以下の解答を除いては、70%前後が生きていると答えている。

同氏らは、幼稚園児ではこれらの事物に対して、生きていると答えるものが、80%前後あり、小学校になるとアニミズムは半減する。しかしながら、小学校6年生になっても、これらの事物に対してかなりアニミズムが残っている、と述べている。我々の調査からも、程度の差はあるが同様のことがみられる。

第五群の生物に対するアニミズム（庭の木）は、同氏らの調査では、幼稚園児でも生きていると正しく答えているが、小学校になるとほとんどのものが、正し

く答えている、と述べている。我々の調査からも「にわの木は生きていますか」という問いに、札幌では、男女とも年齢に比例して、生きていますと答えるものが増加し、1年生で75%~95%である。東京・佐賀も同様である。

2) 死のとらえ方に関する年齢的推移

質問7の「⁽¹⁾人は生きていますか」の問いに、札幌・東京・佐賀ともに4才児ですでに、90%近くが「はい」と答えている。「⁽²⁾人は死にますか」の質問には、札幌・佐賀では同様に4才児で、すでに90%近くが「はい」と答えているが、東京では4才で約半数、6才で85%となっている。

人が過去・現存・未来という時間空間に生きている、という理解の発達を問う、質問7の「⁽³⁾あなたはいつか、おじいさんおばあさんになりますか」「⁽⁴⁾おとうさんおかあさんが赤ちゃんだったことがありますか」の問いに、「はい」と答えたものは、札幌で、(3)の質問に4~5才で約半数あり、6才ではほぼ100%となっている。(4)の質問には、4~6才で約半数であり、1年生ではほぼ100%となる。東京では、(3)(4)両質問とも4才で約半数あり、その後増加し6才で70%~100%となる。佐賀では、(3)(4)両質問とも4才ですでに80%以上である。

生や死を言葉上、また他人のこととして理解しているのではなく、自分や自分の身内にもおこりうることとして、とらえているかを問う「⁽⁵⁾おとうさんおかあさん、いつか死にますか」「⁽⁶⁾あなたはいつか死にますか」の質問に、「はい」と答えたものは、札幌で(5)(6)の質問に、4~5才で半数近くあり、6才で80%となる。東京では、男子は4~5才では少ないが、6才で100%を示している。女子は一年遅れ、小学校1年生で95%を示す。佐賀は、男子は1年生で95%となり、女子は男子よりはやく、4才ではほぼ100%を示している。「はい」と答える数の年齢とともに増加する傾向は、各地域とも統計的に有意を示している(別表2参照)。

文献に示されたデータと我々の調査結果を比較してみると、人間は誰でも死ぬものだ、自分も例外ではない、という事実を承認する時期は、6才ですでに過半数を超え、理解する年齢がはやくなっているといえる。

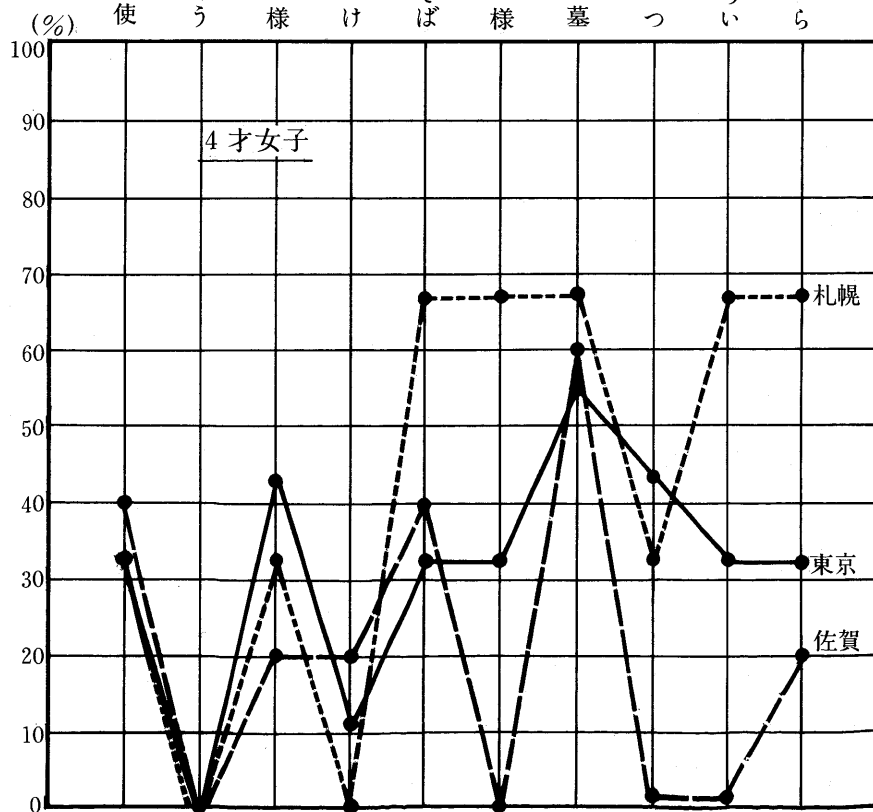
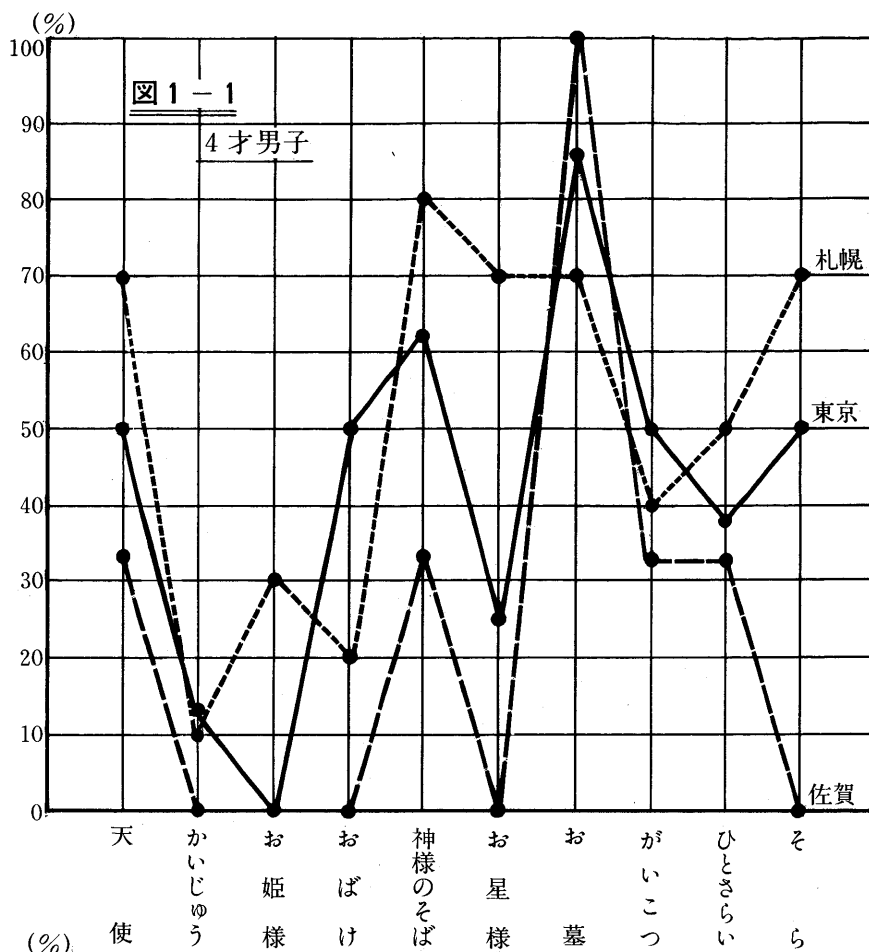
子どもが、命や意識が死者にもあるという考えから、死が肉体的生命の停止である、という認識に至る変化を知る目的で設けた質問8の結果は、札幌では、男子が問い(1)(3)(4)(6)、女子が(4)において、東京では、男子が問い(2)(3)、女子が(4)において、佐賀では、男子が(1)(4)(5)、女子が(4)において、「はい」と答えたものが年

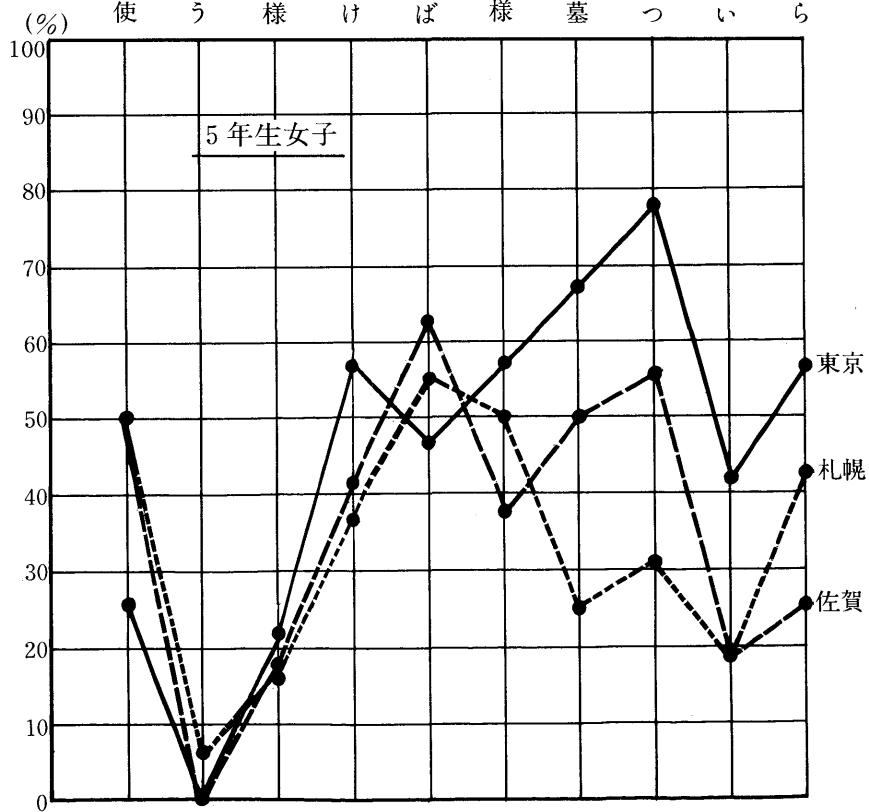
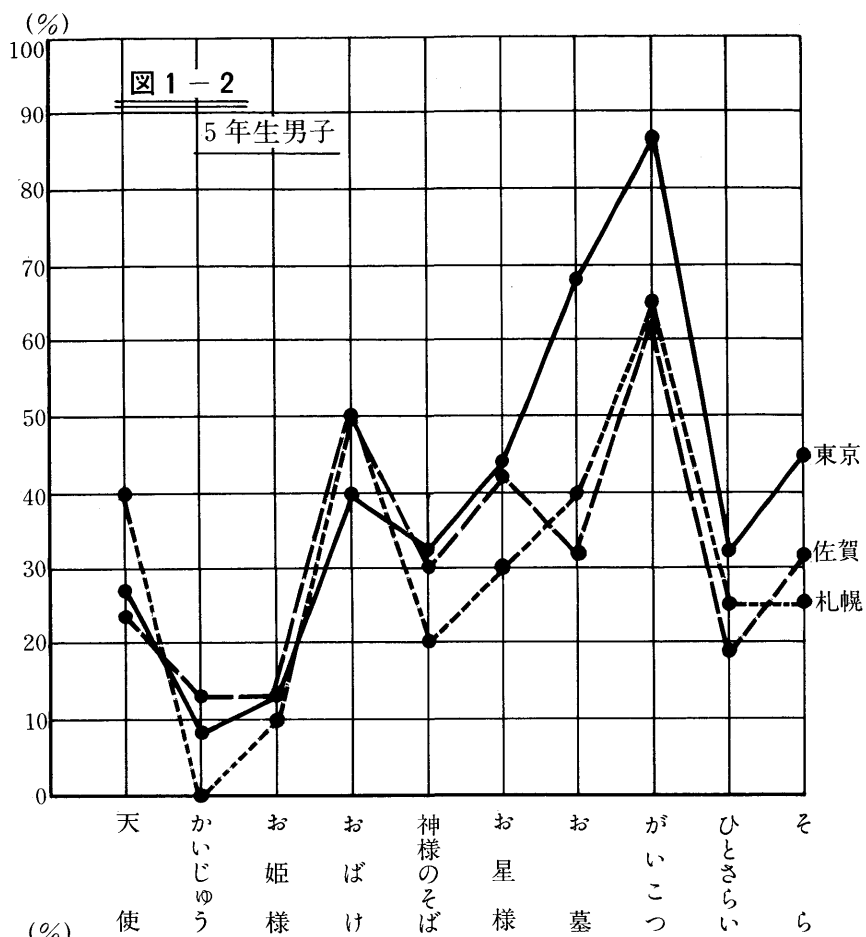
齢とともに減少を示し、統計的にみても有意となっている。各地域で共通に減少を示している問い「⁽⁴⁾死んだ人は、けがをすると痛いですか」をみると、札幌では、4才児で40%の答えがあり、以後徐々に減少している。東京では、4~6才までの約半数が、「はい」と答え、以後急激に減少している。佐賀では、4才児で40%、その後徐々に減少している。各地域とも小学校1年生になると、命や意識が死者にもあるという考えは減少し、20%以下となる。

マギー⁷⁾らは、子どもは9才以上になると、死が肉体的生命の停止であるという認識をもつようになる、と述べている。我々の調査結果をみると、このような認識をもつようになるのは、小学校1年生頃からと言える。

質問9・10は、死が肉体的生命の停止であり、不可避なものである、という認識にたっているかを知る目的で設けた。その結果は質問9で、「はい」と答え、年齢が上がるにつれ、その増加が統計的に有意を示したものは、札幌では、「⁽²⁾死ぬことは、こわいことですか」の問いに対する男女と、「⁽⁶⁾死ぬことは遠くへ行くことですか」に対する男子、「⁽⁶⁾死ぬことは、いなくなってしまうことですか」に対する男女であり、逆に統計的に有意に、年齢が上がるにつれ減少を示したものは、札幌では、「⁽²⁾死ぬことは、痛いことですか」に対する男女であった。東京では、統計的に有意な増加を示したものは、「⁽²⁾死ぬことは、こわいことですか」の男子であった。逆に減少を示したものは、「⁽¹⁾死ぬことは、眠ることですか」の男子、「⁽³⁾死ぬことは、痛いことですか」の女子、「⁽⁶⁾死ぬことは、遠くへ行くことですか」の男子であった。佐賀では、有意に増加を示したものは、「⁽²⁾死ぬことは、こわいことですか」の女子であり、逆に減少を示したものは、「⁽⁴⁾死ぬことは、ひとりぼっちになってしまうことですか」に対する男女、「⁽⁶⁾死ぬことは、いなくなってしまうことですか」の男子であった。

各地域に共通していることは、年齢が上がるにつれて、「⁽²⁾死ぬことは、こわいことですか」に対する答えが統計的に有意に増加していることである。つまり、死ぬということは、「こわい」というふうを考える子供が、幼稚園から小学校になるに従って、増加しているということである。質問10は、子供が死の普遍的性質を理解しているかどうか知るために設けた。その結果は、「⁽²⁾死んだら、もうもどってこない」という問いに「はい」と答えるものが、4才からすでに、各地域とも高率を示している。





カバナフ³⁾は、就学前の子供達は、死というものはすべてしばしのお別れと大差なくらいに思っているようだ、と述べている。しかし我々の調査結果をみれば、4才ですでもどってこないと答えたものが、90%近くいた。このことは、かなりはやいうちから死の不可逆性を理解しているといえよう。

さらに、5才から9才までの子供は、死を一般に何かの形で擬人化する、という説からそのイメージ・傾向を知るために、質問10の下の項目を設けた。その結果は、項目ごとにわけ、男女差・地域差を入れて年齢による変化をみた。解答の多かった項目は、天使・おばけ・神様のそば・おはか・がいこつ・人さらい・そらで、従来いわれているものであった。明るいイメージのものとして、我々が加えた「おひめさま」と、テレビの影響を考えて加えた「かいじゅう」の解答は、少数であった。4才から6才では、おはか・神様のそば・天使などが上位を占めている。(図1-1)小学校低学年では、神様のそば・おはか・がいこつなどが上位を占め、小学校高学年では、がいこつ・おばけ・そら・お星様が上位を占めている(図1-2)。

ここで全体を通してみられることは、男女差があるのではと予想していたが、男女差は少なかった。反対に、マスメディアの拡大・生活環境の格差から、地域差はないのではと予想していたが、男女差よりも地域

差が目立つ結果であった。

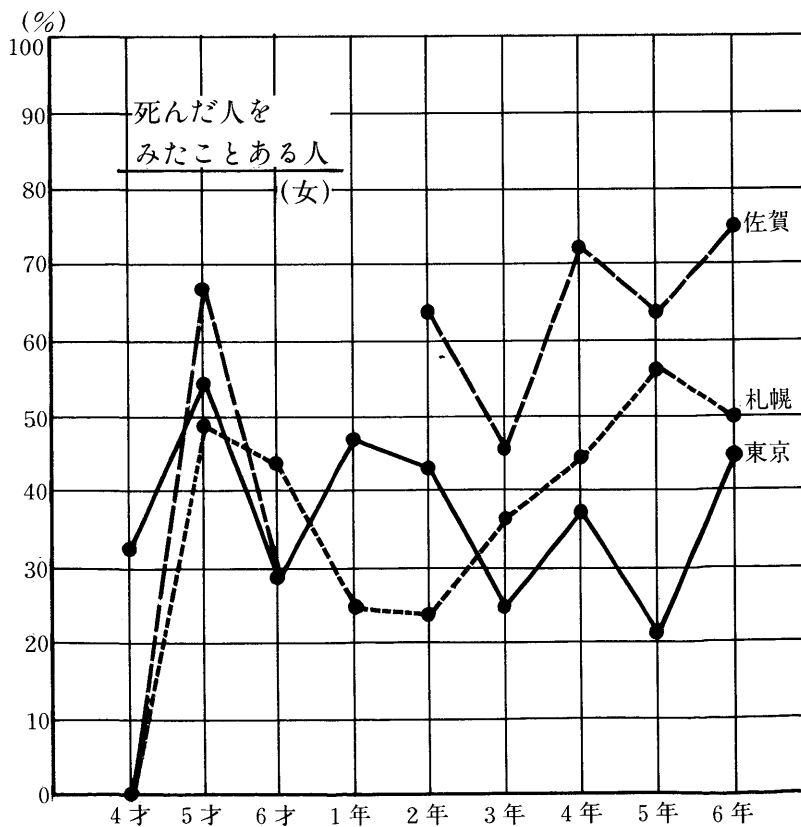
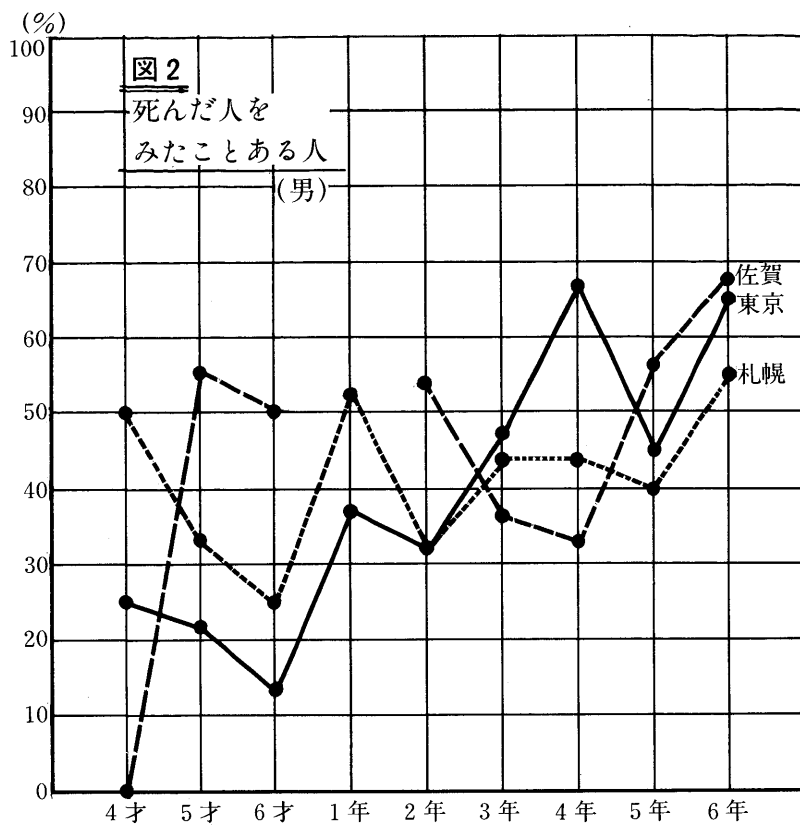
質問11は、子供が実際の死にどれだけ接したことがあるか、またその経験が死の概念発達の過程で、特徴的な影響を及ぼしているかをみる目的で設けた。その結果、死んだ人をみた経験の有無は、表2の通りである。4才児ですでに、25%~50%経験している。年齢とともに経験した子供は、除々に増加しているが顕著ではなく、6年生で45%~75%である。地域による差はみられない(図2参照)。死に接した子供と、接していない子供の死の概念発達の違いを、経験のある子供の中で、質問7を完全に答えられた子供の数と、経験のない子供の中で、質問7を完全に答えることのできた子供の数との数とを比較することで調べてみた。質問7をここでとり上げたのは、死の理解には、過去・現存・未来という時間的空間的な理解と、他人のこととしてでなく、自分や自分の身内にも起こることとして受けとめられることが、必要条件だからである。しかし、この調査データに関する限り、死んだ人と接した経験の有無は、死の概念発達に顕著な影響を及ぼしているとは言えない。

5. 考 察

この調査研究の結果、質問1から6の「アニミズム」

表2 死んだ人をみた経験の有無

		札 幌			東 京			佐 賀		
		総数	みたことある(人)	みたことない(人)	総数	みたことある(人)	みたことない(人)	総数	みたことある(人)	みたことない(人)
4 歳	男	10	5	5	8	2	6	3	0	3
	女	3	0	3	9	4	5	5	0	5
5 歳	男	6	2	4	9	2	7	11	6	5
	女	12	6	6	11	6	5	3	2	1
6 歳	男	4	1	3	7	1	6	4	2	2
	女	9	4	5	7	2	5	17	2	5
1 年生	男	23	12	11	19	7	12	18		
	女	20	5	15	17	8	9	18		
2 年生	男	19	6	13	22	7	15	17	9	8
	女	21	5	16	23	10	13	16	10	6
3 年生	男	18	8	10	15	7	8	22	8	14
	女	19	7	12	16	4	12	20	9	11
4 年生	男	23	10	13	15	10	5	21	7	14
	女	20	9	11	13	6	7	18	13	5
5 年生	男	20	8	12	22	10	12	16	9	7
	女	16	9	7	19	4	15	16	10	6
6 年生	男	20	11	9	21	14	7	19	14	5
	女	18	9	9	22	10	12	20	14	6



に関しては、従来の説と差があり、4～5才からすでに低率を示す傾向がみられる。反対に、すみやかにアニミズムが崩壊すると言われる小学校の中・高学年になっても、アニミズムの傾向がみられる。このことから、子供のアニミズム的思考を通して、生命の概念発達をみると、4～5才からすでに、静止しているものや機械に、意識や感情を付与する見方は少なく、生命とは、生物のみが有すると理解し始めている。一方、小学校の中・高学年でみられるアニミズムの増加について、波多野氏²⁾は次のように述べている。小学校低学年のアニミズムと、6年生頃から始まり中学生頃まで続くアニミズムとは、質的に違ったものである。これは、自然に対して新しい感情的な態度が芽生えてくるからである。たとえば、ある6年生は、「海は生命はないけれど生きている」と言って海を詩的に描写する。科学と芸術とが分化したとき、高次のアニミズムが開花する、と。このことは、子供の自殺問題とも関連し、我々に高次のアニミズムの内容、またこの時期にある学童の死生観等の把握の必要性を感じさせるが、今回は、低次と異なる高次のアニミズムが、小学校高学年頃からみられることの確認にとどまった。

質問7から11の「具体的に死をどのようにとらえているか」の調査結果は、「こわいもの」と答えたものが、全体を通して多く年齢とともに上昇している。死の不可避性・不可逆性の理解に関しても、従来の説と差があり、4～5才ですでに正しく解答したものが高率であり、アニミズムと同様早い時期から、理解し始めていると言える。

我々看護者は、子供の多くが死を「こわいもの」として受けとめていることに、そして予想よりはるかに早く、生命や死の事実を理解し始めていることに注目しなければならない。このような子供の看護にあたる我々は、直接「死」を語ることはしなくても、ただひたむきに隠し、沈黙している現状から早急に肌皮しなければならない。

エマ・N・ブランク¹⁰⁾は次のように述べている。子供というものは、おとなが見せたくないと思い、事実見ていないだろうと信じこんでいるような事態を、つねに観察し感じとっている。緊張に満ちた不幸な事態を、彼らは必ず感づいてしまう。もし、おとなが子供がそれとなく感じていることを、明確にするように、力を貸さなければ子供はあれやこれや想像をはりめぐらすことによって、ますます恐怖を強めてしまうことになりかねない、と。またR・ラマートン¹¹⁾は次のように述べている。現存では大都会の子供達は死に出会うことがないので、死はむしろ観念的な場合が多い。子供は、その早すぎた死の訪れに直面しているときでさえ、そ

のことよりも入院のために両親からひき離される悲しみの方が大きい。痛みを伴う治療や、病棟にいる他の子供の死に対する心痛の方が、たいいていの子供にとって自分の死に対する恐怖より、はるかに大変なことのようと思われる、と述べている。

健康な子供でさえ「死」ということを、「こわいもの」と受けとめている社会の中で、死を避けられない子供の、その現実に対して架け橋となるには、どうしたらよいのだろうか。子供はあれやこれや想像をはりめぐらすことによって、ますます恐怖を強めるというそして子供は、生活環境の中でいろいろな事物にぶつかり、物事をとらえていくものである。その環境を支配していると言ってよい我々は、死を包み隠したり、事実を曲げたりするところによって不安を助長させるのではなく、すでに4～5才から死の事実を認識し始めているということを強く心にとめなければならない。さらに看護以前の問題として真剣に死にとりくみ謙虚に受けとめている姿勢をありのまま示すことが大切である。子供の面前で隠しだてのない自然な態度をとることは、子供が死に関して知った時に受けるショックを、大いに減少させることができる。そのことによって不必要な不安・恐怖を防ぎ、安心感を彼の病気のことをよく知っている人物、彼の治療にかかわっている人物から得られるであろう。

要約

予後不良児看護への心理的アプローチに必要な準拠枠を設定することを目指して、子供が各発達段階で死をどのように受けとめているかを知る目的で質問紙法調査を行なった。質問項目は、子供の思考の特徴であるアニミズムを通して、生命の概念発達をみるものと、死のとらえ方に関する年齢的推移をみるものである。その結果、4～5才ですでに、生命は、生物のみが有するものであることを理解し始め、同じく4～5才からすでに、死の不可避性・不可逆性を理解し始めていることがわかった。

参考文献

1. Donna C. Aguilera, R.N., Ph.D. and Janice M. Messich, R.N., M.S., Crisis intervention, infancy and early childhood, 107—109, The C.V. Mosby Company.
2. Gerald P. Koocher, Ph.D., Talking with children about death, Amer. J. Orthopsychiat., 44:3, 404—411, April 1974.

(本稿は、本学の卒業看護研究として伊東和子、岡田洋子が報告したものをもとにして、常葉と岡堂が構成をあらためたうえでかなりの加除を施したものである)

引用文献

- 1) 小嶋謙四郎, 小児看護心理学, 第1章, 9～11, 医学書院, 1971
 - 2) 波多野完治・滝沢武久, 子どものものの考え方, 岩波新書, 1976
 - 3) カバナフ・R・E, 岡堂哲雄他訳, 死と出会うとき, 第6章, 109～126, 金沢文庫, 1976.
 - 4) ロス・E・キューブラー, 川口正吉訳, 死ぬ瞬間, 続売新聞社, 1974,
 - 5) 宮崎澄雄・武弘道, 小児がん遺族のアンケート調査から, 小児科, 12:9, 966～969, 1971.
 - 6) 江口光興・赤羽太郎, 小児悪性腫瘍の心理的問題, 小児科診療, 36:2, 56～62, 1973.
 - 7) ハーマンフェイフェル・M.H.ナギー, 大原健二訳, 死の意味するもの, 第6章, 80～101, 岩崎学術出版.
 - 8) A・L・ゲゼル, 山下俊郎訳, 乳幼児の心理学, 家政教育社.
 - 9) 依田・藤原, 子どもの性格教育, 68～81, 金子書房, 1956.
 - 10) エマ・N・ブランク, 阿部秀雄訳, 病児の心理, メジカルフレンド社, 1976.
 - 11) R・ラマートン, 季羽倭文子訳, 死の看護, メジカルフレンド社, 1977.
- ※質問の11の, 佐賀一年生は全員解答もれのためデータなし.

(昭和54年4月30日受付)

別紙 調 査 票

_____年生 男 女

● つぎにあげたしつもんにかたえてください。

そう、おもうものには、□の中に○、そう、おもわないものには、×をつけましょう。

1. つ く え { (1) つくえは、いきていますか。.....□
(2) つくえは、あるけますか。.....□
(3) つくえは、大きくなりますか。.....□
(4) つくえは、本をよめますか。.....□
(5) つくえは、いきていますか。.....□

2. おにんぎょう { (1) おにんぎょうは、いきていますか。.....□
(2) おにんぎょうは、え本をよめますか。.....□
(3) おにんぎょうは、いきをしますか。.....□
(4) おにんぎょうは、おなかがすきますか。.....□
(5) おにんぎょうは、いきていますか。.....□

3. にわの木 { (1) にはの木は、いきていますか。.....□
(2) にはの木は、きるといたいとおもいますか。.....□
(3) にはの木は、いきをしますか。.....□
(4) にはの木は、ねむくなりますか。.....□
(5) にはの木は、いきていますか。.....□

4. ひこうき { (1) ひこうきは、いきていますか。.....□
(2) ひこうきは、人がのらないでもとびますか。.....□
(3) ひこうきは、とんでいきもちがいいとおもいますか。.....□
(4) ひこうきは、つかれてますか。.....□
(5) ひこうきは、いきていますか。.....□

5. ラジ オ { (1) ラジオは、いきていますか。.....□
(2) ラジオは、たたくといたいとおもいますか。.....□
(3) ラジオは、いきをしますか。.....□
(4) ラジオは、のどがかわきますか。.....□
(5) ラジオは、いきていますか。.....□

6. かみなり { (1) かみなりは、いきていますか。.....□
(2) かみなりは、おちるといたいとおもいますか。.....□
(3) かみなりは、としをとりますか。.....□
(4) かみなりは、じぶんでおちるところをきめますか。.....□
(5) かみなりは、いきていますか。.....□

7. ひ と

- (1) ひとは、いきていますか。.....☐
- (2) ひとは、しにますか。.....☐
- (3) あなたは、いつかおじいさんおばあさんになりますか。.....☐
- (4) おとうさんおかあさんが、あかちゃんだったことがありますか。.....☐
- (5) おとうさんおかあさんは、いつかしにますか。.....☐
- (6) あなたは、いつかしにますか。.....☐
- (7) ひとは、いきていますか。.....☐

8. しんだひと

- (1) しんだひとは、いきていますか。.....☐
- (2) しんだひとは、うごけますか。.....☐
- (3) しんだひとは、おなかがすきますか。.....☐
- (4) しんだひとは、けがをしないといたいですか。.....☐
- (5) しんだひとは、大きくなりますか。.....☐
- (6) しんだひとは、いきていますか。.....☐

9. しぬこと

- (1) しぬことは、ねむることですか。.....☐
- (2) しぬことは、こわいことですか。.....☐
- (3) しぬことは、いたいことですか。.....☐
- (4) しぬことは、ひとりぼっちになってしまうことですか。.....☐
- (5) しぬことは、とおくへいくことですか。.....☐
- (6) しぬことは、いなくなってしまうことですか。.....☐
- (7) その他 () ☐

10. しんだらどう
なりますか。

- (1) しんでも、またもどってくる。.....☐
- (2) しんだら、もうもどってこない。.....☐
- (3) しんだら、うまれかわる。.....☐
- (4) しんだら、おはかのなかにいる。.....☐
- (5) つぎのなかから、そうおもうものには、☐の中に○、そうおもわない
ものには、×をつけましょう。 ☐

てんし.....☐

かみさまのそば.....☐

ひとさらい.....☐

かいじゅう.....☐

おほしさま.....☐

そ ら.....☐

おひめさま.....☐

おはか.....☐

その他

おばけ.....☐

がいこつ.....☐

11. あなたの知っている人でしんだ人をみたことがありますか。

ある人は○、ない人は×をつけましょう。.....☐

別表 1

		1. つくえ					2. おにんぎょう					3. にわの木					4. ひこうき					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
		つくえは いきていますか	つくえは あるけますか	つくえは 大きくなりますか	つくえは 本を読めますか	つくえは いきていますか	おにんぎょうは いきていますか	おにんぎょうは え本をよめますか	おにんぎょうは いきていますか	おにんぎょうは おなががすきますか	おにんぎょうは いきていますか	にわの木は いきていますか	にわの木は きるといいたいと思いますか	にわの木は いきていますか	にわの木は いきていますか	にわの木は ねむくなりますか	にわの木は いきていますか	ひこうきは いきていますか	ひこうきは 人がのらないでもとびますか	ひこうきは いきていますか	ひこうきは いきていますか	
(上段: 男子 下段: 女子)																						
札幌	園児	4歳	30.0 33.33	30.0	30.0 33.33	30.0	40.0 33.33	30.0 33.33	20.0 33.33	20.0 33.33	20.0 33.33	30.0 33.33	50.0 33.33	40.0 66.67	30.0	20.0	60.0 33.33	70.0 66.67	40.0 33.33	80.0 66.67	40.0 33.33	60.0 66.67
		5歳	16.67		8.33	16.67							50.0 25.0	50.0 16.67	25.0	8.33	50.0 25.0	33.33 8.33	16.67 25.0	50.0 8.33	16.67 25.0	33.33 8.33
		6歳	11.11	25.0	25.0	25.0	25.0		25.0	25.0	25.0	25.0	100 44.44	100 11.11	75.0 11.11	50.0 11.11	100 33.33	25.0	50.0 33.33	50.0 33.33		25.0
	小学生	1年	10.0				5.0	10.0			5.0	10.0	91.30 95.0	69.57 60.0	56.52 35.0	39.13 20.0	82.61 75.0	21.74 20.0	56.52 55.0	43.48 55.0	17.39 25.0	8.70 5.0
		2年	10.53 14.29	10.53 14.29	10.53	5.26 14.29	10.53 9.52	15.79 23.81	10.53 14.29	10.53 9.52	5.26 19.05	15.79 19.05	78.95 71.43	57.89 52.38	47.37 33.33	10.53 38.10	78.95 66.67	21.05 23.81	42.11 38.10	21.05 52.38	26.32 38.10	15.79 23.81
		3年	11.11 15.79			5.56 15.79	11.11 10.53	11.11 5.56	5.56	5.56	5.26 5.26	10.53	5.56 89.47	44.44 42.11	50.0 52.63	38.89 31.58	16.67 100	94.44 21.05	44.44 26.32	33.33 26.32	33.33 26.32	16.67 21.05
4年		8.70 20.0	4.35		4.35 20.0	8.70 25.0	4.35	10.0		10.0	25.0	4.35 100	47.38 35.0	43.48 20.0	17.39 15.0	82.61 100	4.35 10.0	30.43 30.0	21.74 30.0	4.35 10.0	4.35	
5年		20.0 12.50	5.0		5.0 12.50	20.0 6.25	10.0 18.75	10.0 18.75	5.0 12.50	5.0 6.25	25.0 87.50	85.0 25.0	30.0 37.50	55.0 25.0	10.0 25.0	85.0 87.50	20.0 12.50	40.0 37.50	30.0 25.0	30.0 12.50	20.0 18.75	
6年		20.0 38.89		15.0	5.0 38.89	20.0 33.33	30.0 33.33	5.0 11.11	15.0 5.56	30.0 33.33	100 33.33	35.0 44.44	75.0 77.78	15.0 22.22	100 94.44	20.0 27.78	40.0 44.44	30.0 50.0	5.0 16.67	25.0 27.78	25.0	
東京都	園児	4歳	37.50 55.56	11.11	12.50 44.44	37.50 11.11	37.50 33.33	12.50 33.33	12.50 11.11		12.50	37.50 22.22	50.0 44.44	62.50 44.44	12.50 11.11	37.50 55.56	33.33 33.33	66.67 66.67	44.44 44.44	77.78 77.78	55.56 55.56	62.50 55.56
		5歳	37.50 18.18		11.11 9.09	18.18	27.27	37.50 9.09	11.11 18.18	11.11 18.18	11.11	37.50 18.18	44.44 54.55	66.67 63.64	11.11 27.27	37.50 9.09	44.44 36.36	66.67 72.73	44.44 63.64	77.78 81.82	37.50 36.36	62.50 45.45
		6歳	14.29		14.29	14.29	28.57	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	85.71 57.14	71.43 71.43	14.29 14.29	14.29	71.43	42.86 42.86	28.57 28.57	42.86 42.86	57.14 57.14	14.29
	小学生	1年	5.26		5.26	5.26		5.88			5.88	89.47 88.24	78.95 82.35	47.37 35.29	15.79 11.76	84.21 76.47	10.53 17.65	15.79 64.71	63.16 29.41	21.05 17.65	15.79	
		2年	8.70	4.55	4.55	13.64 8.70	4.55 13.04	4.55 17.39		4.35	4.35	8.70 95.65	40.91 34.78	22.73 17.39	9.09 8.70	77.27 95.65	9.09 13.04	36.36 34.78	27.27 52.17	9.09 13.04	9.09	
		3年	6.67 6.25		6.67 6.25	20.0 6.25	6.67 6.25	6.67 18.75	6.67	6.67	6.67	93.33 68.75	33.33 37.50	33.33 12.50	26.67 12.50	86.67 68.75	6.67 12.50	33.33 31.25	33.33 25.0	26.67 31.25	6.67	
		4年	7.69				7.69					80.0 92.31	33.33 38.46	13.33 23.08	6.67 7.69	80.0 76.92	33.33 15.38	40.0 30.77	6.67 23.08	6.67 7.69	6.67	
		5年	9.09			9.09	13.64	4.55	4.55	13.64	90.91	13.64	40.91	40.91	90.91	90.91	4.55	27.27	13.64	13.64	4.55	
		6年	4.76 50.0	4.76 4.55	14.29 4.55	4.76 18.18	4.76 45.45	14.29 63.64	9.52 31.82	9.52 36.36	4.76 18.18	14.29 59.09	100 33.33	42.86 66.67	85.71 66.67	19.05 33.33	100 33.33	28.57 33.33	38.10 66.67	23.81 66.67	28.57 33.33	
	九州	園児	4歳	20.0			33.33		20.0	20.0			33.33	66.67	66.67	33.33	33.33	33.33	66.67	66.67	66.67	33.33
			5歳	18.18		18.18	9.09	9.09	18.18	18.18	9.09	9.09	18.18	36.36	18.18	9.09	18.18	45.45	36.36	72.73	18.18	36.36
			6歳	25.0		25.0					25.0	25.0	100	100	100	25.0	100	71.43	28.57	57.14	57.14	57.14
小学生		1年	11.11 5.56	5.56	5.56	22.22 5.56	11.11 5.56	11.11 5.56	5.56	5.56		11.11	50.0 33.33	50.0 38.39	16.67 16.67	11.11 11.11	50.0 33.33	16.67 27.78	22.22 27.78	38.89 50.0	38.89 33.33	22.22 16.67
		2年	29.41 56.25	18.75	17.65	5.88 18.75	35.28 62.50	35.28 50.0	11.76 18.75	5.88 12.50	8.25 12.50	88.24 37.50	29.41 81.25	41.18 68.75	70.58 25.0	35.28 37.50	23.59 75.0	52.94 56.25	47.06 31.25	41.18 56.25		
		3年	9.09 10.0			4.55 10.0	9.09 5.0				4.55	95.45 100	95.45 85.0	81.82 65.0	59.09 65.0	90.91 95.0		13.64 15.0	27.73 20.0			
		4年	9.52 27.78		14.29	4.76 27.78	9.52 11.11	4.76		14.29	9.52	76.19 5.56	42.85 50.0	19.05 27.78	4.76 5.56	71.43 83.33	14.29 5.56	33.33 50.0	38.10 38.89	23.81 27.78	9.52 16.67	
		5年	31.25 37.50	12.50	6.25	31.25 37.50	25.0 37.50	25.0 12.50	6.25	6.25	25.0	100	37.50	50.0	6.25	100	18.75	56.25	25.0	18.75	18.75	
		6年	31.58 25.0			10.53 25.0	31.58 35.0	21.05 5.0	5.26		26.32 35.0	100	89.47	78.95	21.05	100	26.32	26.32	36.84	36.84	26.32	

5. ラ ジ オ					6. か み な り					7. ひ と							8. し ん だ ひ と					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
ラジオは いき て い ま す か	ラジオは たたく と い た い と 思 い ま す か	ラジオは いき を し ま す か	ラジオは のど が か わ き ま す か	ラジオは いき て い ま す か	かみ なり は いき て い ま す か	かみ なり は おち る と い た い と おも い ま す か	かみ なり は とし を と り ま す か	自分 で おち る と こ ろ を き め ま す か	かみ なり は いき て い ま す か	ひとは 生き て い ま す か	ひとは しに ま す か	あなたは いつあ さ さん に な り ま す か	おとう さん、 おあ さん は	おとう さん、 おあ さん は	あなたは いつか しに ま す か	ひとは 生き て い ま す か	しんだ ひとは いき て い ま す か	しんだ ひとは うけ が す き ま す か	しんだ ひとは うけ が す き ま す か	しんだ ひとは うけ が す き ま す か	しんだ ひとは いき て い ま す か	
40.0 33.33	30.0 66.67	30.0 33.33	20.0	40.0	70.0 100	40.0 66.67	30.0 33.33	60.0 33.33	60.0 100	100 100	80.0 33.33	60.0 33.33	50.0 33.33	40.0 66.67	40.0 33.33	90.0 100	10.0	20.0	20.0	40.0 100	30.0	40.0
16.67	8.33	16.67			33.33 33.33	16.67 33.33	33.33 8.33	33.33 25.0	16.67	91.67	66.67 91.67	33.33 75.0	16.67 50.0	33.33 75.0	16.67 75.0	33.33 100				33.33 25.0		
25.0		25.0	25.0	25.0	75.0 55.56	25.0 11.11		25.0 22.22	50.0 33.33	100 100	75.0 100	100 100	50.0 44.44	75.0 100	75.0 88.89	100 100	50.0	50.0 11.11	50.0	25.0 22.22		25.0
4.35 10.0	17.39 5.0		4.35		78.26 80.0	21.74 25.0	8.70 55.0	30.43 60.0	69.57 100	95.65 95.0	95.65 100	95.65 100	91.30 100	95.65 100	95.65 95.0	13.04 25.0	4.35 10.0	4.35 10.0	8.70 20.0	8.70 5.0	17.39 25.0	
26.32 9.52	10.53 28.57	5.26 9.52	5.26 14.29	31.58 14.29	42.11 66.67	10.53 23.81	15.79 14.29	47.37 33.33	31.58 66.67	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 95.24	100 100	10.53 9.52	15.79 9.52	5.26 14.29	15.79 4.76	10.53 14.29	
5.56 15.79	27.78 21.05		5.26	15.79	11.11 68.42	44.44 10.53	5.56 26.32	38.89 63.16	44.44 57.89	94.44 100	88.89 100	94.44 100	94.44 100	94.44 100	94.44 100				5.56 5.26	11.11 5.26		
15.0 10.0	4.35 5.0	5.0	5.0	15.0	21.74 20.0	8.70 10.0	8.70 20.0	21.74 25.0	21.74 100	100 100	95.65 100	95.65 100	95.65 100	95.65 100	95.65 100	100 90.0	8.7 10.0	8.7 5.0	8.7 5.0	8.7 10.0	4.35 5.0	
18.75 30.0	12.50 10.0				18.37 30.0	62.50 35.0	6.25 25.0	18.75 25.0	56.25 35.0	100 100	93.75 100	100 85.0	100 100	100 100	100 100	100 100	18.75 5.0	31.25 5.0	6.25 5.0		18.75 5.0	
33.33 37.50	16.67 50.0	5.0 5.56			33.33 12.50	38.89 75.0	16.67 62.50	11.11 37.50	33.33 62.50	100 100	100 50.0	94.44 50.0	100 37.50	100 12.50	100 12.50	100 100	5.56 25.0	5.56 12.50	16.67 25.0	33.33 62.50	5.56 62.50	
44.44 37.50	22.22 44.44		22.22	33.33	55.56 88.89	55.56 55.56	22.22 44.44	44.44 37.50	55.56 88.89	100 100	44.44 66.67	44.44 66.67	22.22 44.44	22.22 33.33	22.22 100	88.89 100	22.22 33.33	22.22 11.11	22.22 55.56	66.67 11.11	33.33 11.11	
9.09 28.57	45.45 28.57	9.09	14.29	14.29	18.18 71.43	63.64 42.86	45.45 28.57	54.55 14.29	45.45 71.43	90.91 100	63.64 85.71	72.73 100	63.64 100	45.45 100	45.45 100	100 100	18.18 14.29	14.29 4.76	42.86 4.76	14.29 9.52	14.29	
28.57 10.53	57.14 21.05		5.26	5.26	14.29 78.95	57.14 15.79	28.57 5.26	57.14 36.84	28.57 68.42	100 100	100 89.47	71.43 94.74	57.14 100	42.86 100	42.86 100	100 89.47				10.53 5.26	10.53	
5.88 9.09	29.41 18.18		5.88	9.09	5.88 43.48	47.06 43.48	29.41 13.04	47.06 47.83	29.41 43.48	100 100	95.45 91.30	100 95.65	95.45 95.65	95.45 100	95.45 100	100 100	9.09 4.36	9.09 4.36	4.55 4.36	4.55 4.36	5.88 4.36	
6.67 6.25	13.33 12.50	12.50		6.67	40.0 37.50	33.33 25.0		26.67 12.50	33.33 37.50	100 100	100 87.50	100 93.70	86.67 81.25	93.33 93.70	93.33 81.25	100 100	6.67 12.50	6.67 20.0	6.67 6.25	6.67 6.25	6.67 12.50	
6.67	6.67			6.67	13.33 23.08	20.0 38.46	6.67 7.69	13.33 23.08	6.67 15.38	100 100	93.33 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100		6.67 6.67	6.67 6.67	6.67 6.67	6.67	
9.09		5.26	4.55	4.55	22.73 26.32	5.26 4.55	9.09 5.26	9.09 26.32	22.73 26.32	100 100	100 100	95.45 100	100 100	100 100	100 100	100 100	4.55 9.09	9.09 4.55	4.55 4.55		4.55	
23.81 31.82	14.29 36.36	13.64	9.52	23.81	38.10 81.82	14.29 31.82	9.52 9.09	28.57 31.82	33.33 72.27	100 100	100 95.45	100 100	100 95.45	100 100	100 100	100 100	14.29 27.27	4.76 22.73	4.76 13.64	9.52 9.09	14.29 27.27	
33.33 40.0	33.33 60.0		33.33	33.33	66.67 60.0	66.67 80.0	66.67 20.0	33.33 60.0	33.33 30.0	100 100	66.67 80.0	100 80.0	100 80.0	100 100	100 80.0	100 100	20.0		33.33 20.0		20.0	
27.27 33.33	18.18 100	9.09	9.09	18.18	81.82 16.67	72.73 33.33	27.27 33.33	81.82 33.33	81.82 66.67	90.91 100	81.82 100	72.73 100	72.73 100	72.73 66.67	72.73 66.67	72.73		9.09	18.18	36.36	18.18	
	50.0 57.14	25.0 28.57	50.0 28.57	25.0 28.57	75.0 42.86	50.0 42.86	75.0 75.0	50.0 14.29	75.0 57.14	100 100	100 100	75.0 85.71	50.0 85.71	50.0 85.71	50.0 85.71	100 100	75.0 14.29	25.0 18.57	50.0 14.29	25.0 14.29	50.0 28.57	
16.67 11.11	33.33 33.33	5.56		16.67	72.22 11.11	27.78 88.89	61.11 27.78	83.33 38.89	66.67 66.67	100 100	88.89 77.78	100 88.89	94.44 100	94.44 88.89	94.44 94.44	100 100	27.78 11.11	11.11 11.11	16.67 27.78	22.22 16.67	16.67 5.56	
47.06 43.75	64.71 56.25	35.28	17.65	47.06	76.47 37.50	41.28 87.50	23.59 31.25	23.59 25.0	70.59 31.25	100 100	94.12 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	17.65 25.0	17.65 18.75	17.65 31.25	17.65 12.50	17.65 6.25	
4.55 10.0	9.09 10.0		4.55	4.55	4.55 20.0	4.55 20.0	4.55 10.0	4.55 10.0	9.09 10.0	100 100	100 100	95.45 95.50	95.45 90.0	95.45 95.50	95.45 95.50	100 100						
14.29 16.67	28.57 27.78		4.76	14.29	52.38 77.78	38.10 27.78	4.76 55.56	28.57 77.78	57.14 100	100 100	100 100	95.24 100	100 100	100 100	100 100	100 100	4.76 11.11	4.76 16.67		4.76 5.56	4.76	
25.0 25.0	6.25 37.50	12.50	6.25	25.0	25.0 62.50	25.0 25.0	6.25 18.75	25.0 25.0	25.0 56.25	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	100 100	6.25 12.50	6.25 12.50	6.25 6.25		6.25	
36.84 20.0	36.84 45.0	5.26	5.0	20.0	10.53 75.0	36.84 35.0	5.26 30.0	31.58 60.0	52.63 75.0	100 100	100 100	94.74 100	100 100	100 100	100 100	94.74 95.0	15.79 20.0	15.79 15.0	21.05 10.0	5.26 10.0	15.79 15.0	

9. しぬこと						10. しんだらどうなりますか														11.
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(3)	(4)	てんし	かいじゅう	おひめさま	おばけ	かみさまのそば	おはしさま	おはか	がいこつ	ひとさらい	そら	死んだ人を みたことある人
しぬことは ねむることですか	しぬことは こわいことですか	しぬことは いたいことですか	しぬことは ひとりぼつち ことですか	しぬことは とおくへいく ことですか	しぬことは いなくなつてしまふ ことですか	しんでも またもどつてくる	しんだら もうもどつてこない	しんだら うまれかわれる	しんだら おはかのなかにいる											
60.0	70.0	60.0	80.0	50.0	50.0	30.0	90.0	40.0	80.0	70.0	10.0	30.0	20.0	80.0	70.0	70.0	40.0	50.0	70.0	50.0
66.67	66.67	100	66.67	33.33	33.33		100	66.67	66.67	33.33		33.33		66.67	66.67	66.67	33.33	66.67	66.67	
50.0	33.33	50.0	50.0	16.67	66.67		100		83.33	16.67				83.33	16.67	66.67	33.33	16.67	33.33	33.33
33.33	41.67	25.0	41.67	41.67	66.67		100		66.67	50.0		8.33	25.0	83.33	25.0	66.67	16.67	8.33	58.33	50.0
25.0	50.0	75.0	50.0	50.0	50.0		100	25.0	25.0	50.0				25.0	100	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0
22.22	11.11		55.56	55.56	55.56		100		88.89	33.33				11.11	88.89	22.22	77.78	11.11	66.67	44.44
17.39	73.91	39.13	65.22	60.87	69.57	13.04	73.91	26.09	91.30	69.57	21.74	39.13	43.48	43.48	100	86.96	78.26	82.61	82.61	52.17
20.0	75.0	40.0	85.0	80.0	80.0	10.0	75.0	25.0	70.0	85.0	25.0	60.0	35.0	35.0	85.0	90.0	65.0	80.0	80.0	25.0
10.53	68.42	42.11	52.63	47.37	73.68	5.26	84.21	5.26	78.95	42.11	10.53	47.37	36.84	47.37	63.16	73.68	57.89	68.42	89.47	31.58
28.57	76.19	52.38	57.14	61.90	85.71	14.29	71.43	19.05	85.71	61.90	9.52	52.38	47.62	42.86	80.95	76.19	66.67	71.43	90.48	23.81
22.22	72.22	55.56	72.22	50.0	83.33	15.06	72.22	27.78	77.78	61.11		5.56	27.78	66.67	11.11	44.44	61.11		16.67	44.44
15.79	94.74	47.37	84.21	63.16	84.21	5.26	89.47	21.05	84.21	63.16		5.26	36.84	68.42	42.11	36.84	47.37		26.32	36.84
30.43	78.26	30.43	43.48	52.18	78.26	8.7	73.91	21.74	78.26	17.39	4.35	13.04	17.39	26.09	30.43	47.83	73.91	26.09	30.43	43.48
20.0	100	40.0	60.0	60.0	85.0	5.0	90.0	25.0	85.0	30.0		5.0	20.0	35.0	60.0	45.0	65.0	20.0	20.0	45.0
30.0	80.0	35.0	70.0	65.0	75.0	15.0	80.0	45.0	65.0	40.0		10.0	50.0	20.0	30.0	40.0	65.0	25.0	25.0	40.0
43.75	81.25	6.25	75.0	68.75	87.50	12.5	75.0	62.5	50.0	50.0	6.25	18.75	37.50	56.25	50.0	25.0	31.25	18.75	43.75	56.25
35.0	60.0	25.0	45.0	65.0	70.0	20.0	65.0	45.0	65.0	20.0	20.0	15.0	45.0	35.0	30.0	50.0	55.0	20.0	35.0	55.0
27.78	50.0	16.67	27.78	33.33	77.78	5.56	72.22	33.33	16.67	33.33		11.11	22.22	33.33	33.33	50.0	50.0	11.11	27.78	50.0
50.0	50.0	62.50	100	62.50	87.50	50.0	75.0	62.50	87.50	50.0	12.50			50.0	62.50	25.0	87.50	50.0	37.50	25.0
22.22	44.44	55.56	66.67	66.67	77.78	11.11	88.89	11.11	44.44	33.33		44.44	11.11	33.33	33.33	55.56	44.44	33.33	33.33	33.33
33.33	55.56	66.67	66.67	66.67	77.78	22.22	74.78	44.44	77.78	66.67	22.22	22.22	55.56	66.67	55.56	66.67	77.78	66.67	55.56	22.22
54.55	63.64	63.64	63.64	63.64	90.91	18.18	90.91	9.09	81.82	45.45	9.09	27.27	36.36	72.73	54.55	63.64	36.36	36.36	54.55	54.55
42.86	71.43	42.86	71.43	85.71	85.71		85.71	14.29	100	57.14	14.29		28.57	57.14	14.29	85.71	85.71	42.86	42.86	14.29
42.86	71.43	57.14	85.71	71.43	71.43	28.57	85.71		71.43	42.86		28.57	42.86	71.43	28.57	42.86	57.14	14.29	57.14	28.57
15.79	73.68	68.42	68.42	78.95	89.47	5.26	68.42	21.05	84.21	57.89			57.89	63.16	31.58	57.89	52.63	10.53	26.32	36.84
5.88	88.24	76.47	64.71	58.82	70.59	18.75	41.18	17.65	82.35	64.71		5.88	58.82	58.82	35.29	58.82	58.82		47.06	47.06
22.73	77.27	36.36	36.36	72.73	77.27	13.64	72.73	18.18	90.91	59.09	9.09	9.09	63.64	50.0	45.45	81.82	77.27	27.73	45.45	31.82
21.74	95.65	69.57	82.61	78.26	86.96	8.70	82.61	8.70	91.30	60.87	4.36	17.39	47.83	60.87	52.17	73.91	73.91	13.04	56.52	43.48
20.0	100	46.67	33.33	46.67	86.67	6.67	93.33		86.67	40.0		26.67	40.0	26.67	86.67	73.33	73.33	33.33	66.67	46.67
37.50	87.50	50.0	50.0	62.50	68.75	18.75	56.25	25.0	62.50	50.0	6.25	18.75	43.75	37.50	75.0	43.75	62.50	12.50	43.75	25.0
13.33	73.33	53.33	46.67	46.67	80.0	6.67	66.67	26.67	86.67	13.33			46.67	33.33	6.67	6.67	80.0			66.67
61.54	92.31	53.85	69.23	84.62	92.31	15.38	53.85	23.08	61.54	30.77			46.15	61.54	23.08		76.92			38.46
9.09	72.73	18.18	36.36	40.91	54.55	13.64	63.64	40.91	72.73	27.27	9.09	13.64	40.91	31.82	45.45	68.18	86.36	31.82	45.45	45.45
36.84	78.75	31.58	73.68	68.42	94.74	5.26	84.21	15.79	68.42	16.32		21.05	57.89	47.37	57.89	68.42	78.75	42.11	57.89	21.05
38.10	80.95	47.62	47.62	47.62	80.95	14.29	61.90	52.38	38.10	33.33	4.76	4.76	57.14	38.10	33.33	42.86	57.14	19.05	23.81	66.67
54.55	63.64	27.27	45.45	77.27	22.73	45.45	36.36	72.73	63.64	45.45		31.82	45.45	54.55	72.73	45.45	50.0	27.27	81.82	45.45
	66.67		66.67	66.67	100		100		100	33.33				33.33		100	33.33	33.33		
20.0	60.0	60.0	80.0	80.0	80.0	20.0	100	20.0	100	40.0		20.0	20.0	40.0		60.0			20.0	
27.27	81.82	72.73	81.82	63.64	90.91	18.18	90.91	18.18	63.64	18.18	36.36	9.09	54.55	63.64	27.27	45.45	72.73	36.36	27.27	54.55
33.33	66.67	100	66.67	100	66.67		100		66.67	33.33				33.33	33.33	33.33	66.67		33.33	66.67
100	75.0	75.0	100	100	100		100	25.0	75.0		25.0		75.0	75.0	50.0	75.0	100	25.0	25.0	50.0
14.29	71.43	14.29	57.14	85.71	85.71		85.71		85.71	57.14			14.29	85.71		71.43	71.43	28.57	14.29	28.57
38.89	66.67	66.11	50.0	72.22	77.78	22.22	55.56	16.68	77.78	66.11	16.67	11.11	55.56	72.22	27.78	16.67	72.22	44.44	66.11	
27.78	77.78	55.56	50.0	50.0	77.78	22.22	38.89	16.67	88.89	61.11		11.11	33.33	83.33	44.44	61.11	61.11	16.67	72.22	
23.53	82.35	88.24	70.59	82.35	88.24	5.88	94.12	35.29	88.24	11.76		5.88	64.71	52.94	17.65	52.94	52.94	5.88	35.29	52.94
31.25	81.25	37.50	56.25	87.50	75.0	12.50	81.25	25.0	87.50	18.75			50.0	75.0	37.50	68.75	50.0		43.75	62.50
13.64	95.45	77.27	40.91	68.18	81.82		63.64		81.82	4.55		4.55	18.18	45.45	18.18	27.27	40.91		27.23	36.36
15.0	90.0	65.0	45.0	95.50	90.0	5.0	85.0	5.67	95.50	15.0		15.0	20.0	45.0	35.0	45.0	15.0	20.0	45.0	45.0
28.57	95.24	47.62	57.14	71.43	76.19	4.76	90.48	9.52	76.19	28.57			61.90	47.62	19.05	47.62	71.43			33.33
27.78	88.89	38.89	61.11	83.33	94.44	5.56	72.22	33.33	83.33	44.44			38.89	44.44	27.78	22.22	55.56	5.56	22.22	72.22
25.0	75.0	43.75	43.75	37.50	93.35		81.25	25.0	56.25	25.0	12.50	12.50	50.0	31.25	43.75	31.25	62.50	18.75	31.25	56.25
25.0	75.0	31.25	31.25	61.50	87.50	6.25	87.50	31.25	75.0	50.0		18.75	43.75	62.50	37.50	50.0	56.25	18.75	25.0	62.50
36.84	73.68	63.16	52.63	63.16	78.95	10.53	78.95	26.32	73.68	47.37	26.32	21.05	52.63	52.63	52.63	43.37	63.16	31.58	63.16	68.42
30.0	95.0	50.0	65.0	80.0	70.0		80.0	45.0	70.0	65.0	5.0	30.0	50.0	55.0	70.0	45.0	45.0	35.0	50.0	75.0

(上段：男子)
(下段：女子)

表-2 その(1)

		札幌			東京			佐賀		
		傾斜度	標準偏差		傾斜度	標準偏差		傾斜度	標準偏差	
1	(1)	0.76 0.64	0.109 0.095	* 2.385 1.474	0.27 0.29	0.129 0.109	-1.783 -1.927	0.64 0.62	0.095 0.109	1.474 1.101
	(2)	0.10 —	0.158 —	** -2.532 —	— 0	— —	— —	— —	— —	— —
	(3)	0.17 —	0.204 —	-1.618 —	0.60 0.10	0.158 0.109	0.633 ** -3.670	0.30 —	0.158 0.204	-1.266 —
	(4)	0.18 —	0.095 —	** -3.368 —	0.33 0.47	0.109 0.129	-1.562 -0.233	0.36 0.33	0.095 0.204	-1.474 -0.833
	(5)	0.38 0.62	0.109 0.109	-1.101 1.101	0.40 0.50	0.158 0.158	-0.633 0	0.71 0.60	0.109 0.129	1.927 0.775
2	(1)	0.47 0.62	0.129 0.109	-0.233 1.101	0.38 0.50	0.109 0.095	-1.101 0	0.67 0.57	0.129 0.095	0.233 0.737
	(2)	0.13 0.33	0.129 0.204	** -2.863 -0.833	0.27 0.57	0.129 0.289	-1.783 0.242	0.20 0.20	0.158 0.129	-1.899 * -2.326
	(3)	0.30 0.40	0.158 0.158	-1.266 -0.632	0.33 0.60	0.204 0.158	-0.833 0.632	0.40 0.20	0.158 0.158	-0.633 -1.897
	(4)	0.20 0.38	0.158 0.109	-1.899 -1.101	0.20 0.67	0.158 0.204	-1.899 0.833	0.50 —	0.204 —	0 —
	(5)	0.40 0.71	0.095 0.109	-0.421 1.927	0.40 0.53	0.129 0.129	-0.775 0.232	0.57 0.60	0.109 0.129	0.642 0.775
3	(1)	0.75 0.83	0.083 0.083	** 3.012 ** 3.976	0.78 0.89	0.083 0.083	** 3.373 ** 4.699	0.81 0.83	0.083 0.083	** 3.735 ** 3.976
	(2)	0.31 0.42	0.083 0.083	* -2.289 -0.964	0.28 0.42	0.083 0.083	** -2.651 -0.964	0.50 0.53	0.083 0.083	0 0.361
	(3)	0.61 0.75	0.095 0.095	1.158 ** 2.632	0.67 0.75	0.083 0.083	* 2.048 ** 3.012	0.56 0.36	0.083 0.083	0.723 -1.687
	(4)	0.25 0.71	0.095 0.095	** -2.632 * 2.211	0.46 0.50	0.095 0.083	-0.421 0	0.44 0.47	0.083 0.083	-0.722 -0.361
	(5)	0.75 0.83	0.083 0.083	** 3.012 ** 3.976	0.92 0.87	0.083 0.083	** 5.060 ** 4.458	0.82 0.86	0.095 0.083	** 3.368 ** 4.337
4	(1)	0.14 0.50	0.083 0.095	** -4.337 0	0.24 0.36	0.109 0.095	* -2.385 -1.474	0.38 0.24	0.109 0.109	-1.101 * -2.385
	(2)	0.50 0.64	0.083 0.083	0 1.687	0.28 0.33	0.083 0.083	** -2.651 * -2.048	0.42 0.64	0.083 0.083	-0.964 1.687
	(3)	0.22 0.39	0.083 0.083	** -3.373 -1.325	0.17 0.22	0.083 0.083	** -3.976 ** -3.373	0.19 0.36	0.083 0.083	** -3.735 -1.687
	(4)	0.39 0.39	0.095 0.095	-1.158 -1.158	0.31 0.31	0.083 0.083	* -2.289 * -2.289	0.43 0.28	0.109 0.083	-0.642 ** -2.651
	(5)	0.36 0.54	0.083 0.095	-1.687 0.421	0.21 0.32	0.095 0.095	** -3.053 -1.895	0.24 0.29	0.109 0.095	* -2.385 * -2.211
5	(1)	0.46 0.67	0.095 0.109	-0.421 1.560	0.28 0.38	0.083 0.109	* -2.651 -1.101	0.46 0.32	0.095 0.095	-0.421 -1.895
	(2)	0.24 0.43	0.109 0.095	* -2.385 -0.738	0.07 0.38	0.095 0.109	** -4.526 -1.101	0.44 0.28	0.083 0.083	-0.723 ** -2.651
	(3)	0.13 0.20	0.129 0.158	** -2.868 -1.879	— 0.50	— 0.158	— 0	0.50 0.30	0.204 0.158	0 -1.266
	(4)	0.30 —	0.158 —	-1.266 —	0.24 0.33	0.109 0.289	* -2.385 -0.588	0.40 0.30	0.129 0.158	-0.775 -1.266
	(5)	0.33 0.93	0.129 0.129	-1.318 ** 3.333	0.33 0.33	0.083 0.129	* -2.048 -1.318	0.50 0.25	0.083 0.095	0 ** -2.632
6	(1)	0.31 0.36	0.083 0.083	* -2.289 -1.687	0.22 0.31	0.083 0.083	** -3.373 * -2.289	0.28 0.42	0.083 0.083	** -2.651 -0.964
	(2)	0.36 0.14	0.083 0.109	-1.687 ** -3.303	0.14 0.25	0.083 0.083	** -4.337 ** -3.012	0.22 0.28	0.083 0.083	* -3.373 * -2.651
	(3)	0.33 0.43	0.109 0.109	-1.560 -0.642	0.36 0.18	0.095 0.095	-1.474 ** -3.368	0.18 0.36	0.095 0.095	** -3.368 -1.474
	(4)	0.28 0.39	0.083 0.083	* -2.651 -1.325	0.42 0.31	0.083 0.083	-0.964 * -2.289	0.36 0.42	0.083 0.083	-1.687 -0.964
	(5)	0.36 0.36	0.083 0.083	-1.687 -1.687	0.28 0.33	0.083 0.083	** -2.651 * -2.048	0.31 0.42	0.083 0.083	* -2.289 -0.964
7	(1)	0.86 0.97	0.083 0.083	** 4.337 ** 5.663	0 0.97	— 0.083	— 5.663	0.97 —	0.083 0.083	** 5.663 —
	(2)	0.81 0.61	0.083 0.083	** 3.735 1.325	0.94 0.81	0.083 0.083	** 5.301 ** 3.735	0.89 0.92	0.083 0.083	** 4.699 ** 5.060

表—2 その(2)

(* …危険率5%以下
* …危険率1%以下)

		札 幌			東 京			佐 賀		
		傾斜度	標準偏差		傾斜度	標準偏差		傾斜度	標準偏差	
7	(3)	0.69 0.92	0.083 0.083	* 2.289 ** 5.060	0.97 0.92	0.083 0.083	** 5.663 ** 5.060	0.94 0.92	0.083 0.083	** 5.301 ** 5.060
	(4)	0.69 0.75	0.083 0.083	* 2.289 ** 3.012	0.78 0.94	0.083 0.083	** 3.373 ** 5.301	0.64 0.89	0.083 0.083	** 1.687 ** 4.699
	(5)	0.86 1.0	0.083 0.083	** 4.337 ** 6.024	0.89 0.86	0.083 0.083	** 4.699 ** 4.337	0.94 0.86	0.083 0.083	** 5.301 ** 4.337
	(6)	0.83 0.97	0.083 0.083	** 3.012 ** 5.663	0.86 0.92	0.083 0.083	** 4.337 ** 5.060	0.94 0.86	0.083 0.083	** 5.301 ** 4.337
	(7)	0.89 0.56	0.083 0.083	** 4.699 0.723	0.86 1.0	0.083 0.083	** 4.337 ** 6.024	0.67 0.69	0.083 0.083	* 2.048 * 2.290
8	(1)	0.19 0.40	0.109 0.129	** -2.844 -0.775	0.27 0.38	0.129 0.109	-1.783 -1.101	0.20 0.52	0.129 0.109	* -2.326 0.183
	(2)	0.29 0.33	0.109 0.129	-1.927 -1.318	0.29 0.83	0.095 0.204	* -2.211 1.569	0.47 0.50	0.129 0.158	-0.233 0
	(3)	0.24 0.33	0.109 0.204	* -2.385 -0.833	0.19 0.40	0.109 0.129	** -2.844 -0.775	0.40 0.29	0.129 0.109	-0.775 -1.927
	(4)	0.21 0.14	0.095 0.109	** -3.053 ** -3.308	0.14 0.10	0.109 0.158	-0.275 * -2.532	0.10 0.13	0.109 0.129	** -3.670 ** -2.868
	(5)	0.17 0.67	0.204 0.289	-1.618 0.588	0.47 0.17	0.129 0.204	-1.318 -1.618	0.13 0.33	0.129 0.204	** -2.868 -0.833
	(6)	0.05 0.27	0.109 0.129	** -4.128 -1.783	0.60 0.60	0.158 0.129	-0.633 1.325	0.20 0.43	0.129 0.109	* -2.326 -0.642
9	(1)	0.44 0.39	0.083 0.083	-0.723 -1.325	0.25 0.61	0.083 0.083	** -3.012 1.325	0.39 0.56	0.095 0.083	-1.158 0.723
	(2)	0.69 0.69	0.083 0.083	* 2.289 * 2.289	0.78 0.61	0.083 0.083	** 3.373 1.687	0.61 0.86	0.083 0.083	1.325 ** 4.337
	(3)	0.19 0.29	0.083 0.095	** -3.735 * -2.211	0.36 0.25	0.083 0.083	-1.687 ** -3.012	0.32 0.39	0.095 0.083	-1.895 -1.325
	(4)	0.42 0.50	0.083 0.083	-0.964 0	0.50 0.42	0.083 0.083	0 -0.964	0.31 0.31	0.083 0.083	* -2.289 * -2.289
	(5)	0.83 0.64	0.083 0.083	** 3.976 1.688	0.31 0.64	0.083 0.083	* -2.289 1.687	0.39 0.42	0.083 0.083	-1.325 -0.964
	(6)	0.78 0.78	0.083 0.083	** 3.373 ** 3.373	0.36 0.56	0.083 0.083	-1.687 0.723	0.31 0.58	0.083 0.083	* -2.289 0.964
10	(1)	0.57 0.40	0.109 0.129	0.642 -0.775	0.46 0.54	0.095 0.095	-0.421 0.421	0.30 0.27	0.158 0.129	-1.266 -1.783
	(2)	0.25 0.31	0.083 0.083	** -3.012 * -2.289	0.25 0.22	0.083 0.083	** -3.012 ** -3.373	0.31 0.33	0.083 0.083	* -2.289 * -2.048
	(3)	0.64 0.57	0.095 0.109	1.474 0.642	0.54 0.71	0.095 0.095	0.421 * 2.211	0.62 0.61	0.109 0.095	1.101 1.158
	(4)	0.31 0.42	0.083 0.083	* -2.289 -0.964	0.31 0.47	0.083 0.083	* -2.289 -0.361	0.36 0.18	0.083 0.095	-1.687 ** -3.368
天 使		0.33 0.53	0.083 0.083	* -2.048 0.361	0.28 1.44	0.083 0.083	** -2.651 -0.723	0.50 0.61	0.095 0.083	0 1.325
かいじゅう		0.50 0	0.158 —	0 —	0.20 0.33	0.129 0.284	* -2.323 -0.599	0.30 0	0.158 —	-1.266 —
お 姫 様		0.50 0.36	0.109 0.095	0 -1.474	0.30 1.46	0.158 0.095	-1.266 -0.421	0.67 0.70	0.129 0.158	1.318 1.266
お ば け		0.68 0.57	0.095 0.095	1.895 0.737	0.53 0.72	0.083 0.083	0.964 ** -2.651	0.36 0.82	0.095 0.095	-1.474 ** 3.368
神様のそば		0.22 0.31	0.083 0.083	** -3.373 * -2.289	0.22 0.42	0.083 0.083	** -3.373 -0.964	0.36 0.50	0.083 0.083	-1.687 0
お 星 様		0.44 0.44	0.083 0.083	-0.723 -0.723	0.56 0.67	0.083 0.083	0.723 * -2.048	0.61 0.62	0.095 0.109	1.158 1.101
お は か		0.31 0.33	0.083 0.083	* -2.289 * -2.048	0.25 0.54	0.083 0.095	** -3.012 0.421	0.33 0.39	0.083 0.083	* -2.048 -1.325
がいこつ		0.61 0.57	0.095 0.095	1.158 0.737	0.61 0.78	0.083 0.083	1.325 ** 3.373	0.44 0.25	0.083 0.095	-0.723 ** -2.632
ひとさらい		0.33 0.46	0.095 0.095	-1.789 -0.421	0.29 0.38	0.095 0.109	* -2.211 -1.101	0.38 0.53	0.109 0.129	-1.101 0.233
そ ら		0.39 0.36	0.083 0.083	-1.325 -1.687	0.31 0.75	0.083 0.095	* -2.289 ** 2.632	0.62 0.64	0.109 0.083	1.101 1.687
11		0.58 0.64	0.083 0.095	0.964 1.474	0.83 0.39	0.083 0.083	** 3.976 -1.325	0.57 0.71	0.109 0.109	0.642 1.927

Developmental Study on the Concept of Death in Childhood

Keiko Tokiwa et al.

This study was designed to investigate developmental changes of the concept "death" at the various age levels of childhood. Subjects were 413 boys and 398 girls at the age levels of four years old through twelve years old, living in Sapporo, Tokyo and Kumamoto areas. Their task was to answer eleven questions listed on the questionnaire of the concept of death. The questionnaire was administered to them in August and November of 1977.

The data collected were analyzed by linear regression technique in order to find the changed concept at each age group.

The following two points were suggested by the results of this study.

- (1) The older children at the fifth and sixth grades indicated still having animistic tendency at the higher cognitive level than the younger children. This tendency was apparently coincidental with a sixth grade boy's statement, saying "Ocean doesn't have life, but is really living," which has been indicated by a Japanese psychologist.
- (2) The younger children at four or five years old showed somewhat vague conceptualization of death. Early enough, they felt and believed that death seemed fearful, inevitable and irreversible in a primitive way of cognitive function.

These findings could be useful for effective child care in nursing practice as well as for child rearing.